

高齢者の肺炎予防における 呼吸リハビリテーションの役割

巻 直樹 先生

筑波大学医学医療系呼吸器外科学 研究員

平成30年7月10日（火）

18：30～20：30

筑波大学総合研究棟D 公開講義室(1F)

日本では肺炎が高齢者の死因第3位であり、90歳以上では死因第1位となっています。その一因には、加齢に伴う呼吸機能の低下や摂食、嚥下機能等の口腔機能低下による誤嚥にあります。誤嚥により生じる肺炎、誤嚥性肺炎を予防することは、高齢者の方がより良い生活を送る上で重要であると考えられます。そのため今回、高齢者における肺炎予防の観点から呼吸リハビリテーションの役割についてお話したいと思います。

今回の勉強会では、筑波大学医学医療系呼吸器外科学の巻直樹先生に「高齢者の肺炎予防における呼吸リハビリテーションの役割」の演題で、お話していただく予定です。事前申し込みの必要はございません。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

この講演会は日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部の後援を受けています。この講演会に参加されますと、日本プライマリ・ケア連合学会 専門医・認定医2単位と認定薬剤師1単位が取得できます。

またフロンティア医科学専攻の医科学セミナー4（プライマリ・ケア）の一部となっています。

連絡先：筑波大学医学医療系
福祉医療学
柳 久子

TEL&FAX： 029-853-3496